

議 長	局 長	次 長	局長補佐	局長補佐	係 長	書 記

一関市議会 教育民生常任委員会 記録

会議年月日	令和4年1月28日(金)					
会議時間	開会	午前11時7分	閉会	午後11時54分		
場 所	全員協議会室					
出席委員	委員長 永 澤 由 利		副委員長 千 葉 信 吉			
	委 員 岩 淵 優		委 員 那 須 勇			
	委 員 佐 藤 真由美		委 員 菅 原 行 奈			
	委 員 門 馬 功		委 員 猪 股 晃			
遅 刻	遅 刻 なし					
早 退	早 退 なし					
欠席委員	欠 席 千葉大作委員					
事務局職員	栃澤調査係長					
紹介議員	なし					
出席説明員	小菅教育長、菅原教育部長、及川教育総務課長、伊藤教育企画係長					
参考人	なし					
本日の会議に付した事件	所管事務調査 (1) 一関市立室根小学校校舎・屋内運動場等建設工事の進捗状況について					
議事の経過	別紙のとおり					

教育民生常任委員会記録

令和4年1月28日

(午前11時7分 開会)

委員長 : ただいまの出席委員は8名です。

定足数に達しておりますので、これより本日の委員会を開会いたします。

千葉大作委員より欠席の旨、届け出がありました。

録画、録音、写真撮影を許可しておりますので、御了承願います。

本日の案件は、御案内のとおりです。

お諮りします。

本日の所管事務調査に当たり、当局から教育長の出席を求めることに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 御異議ありませんので、さよう決しました。

直ちに議長を通じて、教育長の出席を求めることといたします。

所管事務調査を行います。

一関市立室根小学校校舎・屋内運動場等建設工事の進捗状況についてを議題といたします。

当局より説明を求めます。

小菅教育長。

教育長 : ただいまお話しがありました一関市立室根小学校についてですが、室根小学校は令和4年4月に統合になる、統合になって室根小学校となる予定であります。

現在、校舎の建設工事を行っているところですが、工期延長等もありまして完成後に校舎に入るのは6月ごろということで以前に説明させていただきましたが、その後、見通しについてまた変化が出てきましたので、これについて皆さんに報告したいと思えます。

教育総務課長から報告いたします。

委員長 : 及川教育総務課長。

教育総務課長 : それでは私から御説明させていただきます。

初めに、室根小学校の校舎・屋内運動場建設工事の概要について、御説明したいと思いますので、2枚目のカラーのイメージ図、あとは平面図等が載っている資料をごらんいただきたいと思えます。

この図面の右上の配置図をごらんいただきたいと思えます。

新しい室根小学校につきましては、現在の室根中学校の敷地内に建設するという事としております。

室根中学校の南西側の敷地に新しい小学校を建設するというものでございます。

その下に、1階、2階の平面図がございますが、1階平面図をごらんいただきたいと思っております。

今回の室根小学校の一番の特徴は、屋内運動場と校舎が一体になっているという点でございます。

一体とすることにより建設コストであったり、環境への負荷軽減等が図られるという、コンパクトな設計になっているというものでございます。

新しい室根小学校につきましては、各学年1学級となりますので、普通教室につきましては、1階、2階の日当たりのよい南側のほうに普通教室を配置しているというものでございます。

そして、1階の北側には放課後児童クラブ、むろねっこホールという地域開放エリアという部分で北側に配置をしております。

こちらのむろねっこホールにつきましては、地域の方々との交流の場というような位置づけで設置しているところでございます。

そして左側のイメージ図につきましては、完成予定のイメージとなっております。

教室、屋内運動場等の内装のほうは限りなく木質化を図るということで設計しているところでございます。

校舎・屋内運動場等建設工事の概要については、以上となります。

1ページの資料に戻っていただきたいと思っております。

初めに、1、これまでの経緯ということで順を追って御説明させていただきます。

(1)地盤改良工事でございますが、建設に当たって地質調査を行ったところ、建設予定地が軟弱な地盤ということが判明したことから、地盤改良工事が建設工事に先立って必要だということになりました。

そして地表から深さ7メートルから深いところでは20メートル下にかたい支持層があるということがわかりましたので、そのところにくいを設置する、372本の杭工事をするところになったところでございます。

当初は、令和2年11月から令和3年2月で終了する予定でございましたが、実際工事に入って孔を掘っていったところ、そのかたい支持層に到達する1メートルから1メートル半の手前で、攪拌機が入らなくなるという現象が生じたところでした。

その支持層の手前の層が、砂状のサラサラとしたような地盤であったために、支持層に行く手前で、機械がとまってしまうということがございまして、それを解決するためにベントナイトという鉱物をまぜて機械が入りやすくなるような追加工事が必要となったところでございました。

その関係で2月9日に終了する予定が、令和3年3月29日まで地盤改良工事を延長したという経緯がございました。

(2)校舎・屋内運動場建設工事でございますが、こちらにつきましては地盤改良工事が終了後、すぐ建設工事に取りかかって、当初はことしの1月14日に完成するという工期でございましたが、地盤改良工事が延びたために、建設工事につきましてもことしの

4月25日までどうしてもかかるというようになったところまでございました。

4月1日の時点で学校は統合になりますので、その間、現在の室根東小学校の校舎を仮校舎として使用するというところで進めてきたところまでございます。

校舎につきましては4月25日まで工事がかかりますので、その後に完了検査、そして引っ越し等を行いまして、6月半ばから7月初めのあたりで新しい校舎に移るというような予定でこれまで進めてきたところまでございました。

資料の右側になりますが、2、現在の見通しということで、今現在、施工が停滞してさらなる工期の延長が必要となったというところまでございます。

その理由は2つございまして、1つ目は建築工事におきまして外壁下地材（アングル材）これは金属の金物、外壁を固定するための金物でございます。

こちらの納入が停滞して外壁の施工がおくれているということでございます。

昨年中におきましては、このアングル材が全く入ってこないという状況でございましたが、現在はこちらにつきましては少しずつ入ってきておりますので、その入ってきた分に応じて外壁工事は進んでいるという状況でございます。

ただ、外壁工事が終了しないうちは足場もとれませんので、それ以降の機械設備の工事にも影響が出るというものでございます。

そして2つ目の要因でございまして、高圧ケーブルの生産が停止し、納入の見通しが立っていないというものでございます。

通電した状態で施工ができないという状況でございました。

この2つの要因につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けて、生産工場であります東南アジアの工場が、いずれもロックダウンによりまして長期稼働停止になっている状況でございます。

そのため、国内にその資材が入ってこないという状況でございました。

この高圧ケーブルにつきましては、当初、耐火性の高圧ケーブルでの設計でございましたが、この耐火性の高圧ケーブルにつきましては、現在も全く入荷の見通しがわからないというような状況だということでございます。

そのような状況ですので、耐火性ではない高圧ケーブルを代替として使えないかというところで検討を行いまして、それが可能かどうかというところを消防のほうに確認をとって、消防からも大丈夫だという承認をいただいたところまでございます。

その代替品のケーブルを使うことによって、工期が6月30日に終了して、6月30日までに完了検査、建築確認等の検査等も終了可能だという見通しが今時点で立ったところまでございます。

ですので、6月30日以降に引っ越し等を行うような形になりますので、そうしますと今現在では夏休み終了までに引っ越しを行いまして、2学期から新しい学校に移って使用開始ができるというように見込んでいるところまでございます。

工事につきましては、4月25日の工期が6月30日まで延長となりますので、その関係で費用はどのようになるのかということになりますが、工期延長に伴いまして共通仮設費というものがふえてくることとなります。

共通仮設費につきましては、足場代だったり、重機のリース代であったり、そういったような工事に必要なリースの部分が延長になることによって増額となるというように

なるものでございます。

3つの工事で大体3,000万円程度ではないかというように見込んでいるところでございます。

この対応としましては4番になりますが、まず予算の補正が必要となりますので、2月通常会議に提案したいと考えているところでございます。

そして、増額の契約変更につきましては、変更額が1,000万円を超える場合には、契約変更の議決が必要となりますので、4月25日の前に臨時会議の開催をお願いするようになると思いますが、1,000万円を超えない場合には市長専決条例に基づき専決処分を行うことが可能でございますので、専決処分により変更したいと考えているところでございます。

資料の説明につきましては、以上でございます。

よろしくお願いいたします。

委員長：これより質疑、意見交換を行います。

那須委員。

那須委員：何点か質問をさせていただきますけれども、まず新校舎の使用開始ですが、3、開校スケジュールへの影響でお話しがありました。

その前に確認なのですが、この統合による新校舎の使用開始は当初はことしの4月の予定だったというように思っただけという確認と、ことし4月の予定が前回変更し、工期が4月25日までの工事で、完成検査、引っ越し等で6月から新校舎の使用、これは現在の予定ということでお話しをいただきました。

今回の変更を踏まえまして、2学期の始業からということであると、夏休み明けでいいですね。

夏休み明けの、時期的にはお盆明け8月末ごろからというような、時期的にはそういう時期になるかと思いますが、新校舎の使用ということにつきましては、一番子供たちが、そしてPTAとしても、地域としても、早く新しい校舎に入りたいという気持ちがあるかと思うのですが、こういったスケジュールを踏まえた地域に対する説明のタイミングをどこでどうするか、もちろん議会という中での変更をしながらですけれども、地域への説明は、このスケジュールの中ではいつごろになるかというところを一つ質問をさせていただきたいと思います。

あと工事関係の都合、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響ということの中で、資材の納入が停滞しているということなのですが、当初設計、例えば、外壁の下地材とかの部分については当初からあったものだと思いますが、新型コロナウイルス感染症の影響というところからすると、実際につくっているのが海外というお話しもありましたけれども、何とかそういった新型コロナウイルス感染症の状況の中でもそういった資材関係が調達できなかったのかなということがちょっと懸念されるというように思います。

新型コロナウイルス感染症の影響により、外壁下地材の納入が停滞し、そして耐火性の高圧ケーブルが生産停止されているという状況、見通しが立っていないということの中で、新型コロナウイルス感染症の影響ということではなく、なぜ工期がこれだけある

中でそういった対応ができなかったのかというところを一つ確認をさせていただきます。

高圧ケーブル、これを消防のほうに確認をして非耐火性でよろしいということも確認したということなのですが、実際そうなのですね。

今までも校舎の新築はあったかと思うのですが、やはり高圧ケーブル自体は耐火性のものということで、建築材の仕様、仕様上を左側の変更の経費の中で、「②施工過程で生じた仕様等の変更による」とあるのですが、新築校舎の高圧ケーブル自体を耐火性のものというように仕様書の中でうたっているかと思うのですが、消防法上、間違いがない、確認をしたということの説明だったのですが、非耐火性でもよいということなのか、であれば何でしょうか、新型コロナウイルス感染症の影響も当初から懸念されているということ言えば、当初から非耐火性の高圧ケーブルでもよかったのではないかというようなことも思いましたので、その辺のところも確認させていただきます。

そうした上で、金額的に耐火性のものと非耐火性というものの費用を言えば、感覚には非耐火性のものが安いような気がしますが、そういったところも設計の中でも安いという中で、ただ全体的には工事費がかさむということなのかというところの確認もさせていただきます。

そういった質問でございます。

委員長：及川教育総務課長。

教育総務課長：まず開校予定の部分でございますが、当初は1月半ばに建設工事が終わって、それ以降3月までの間に引っ越し等を行って、4月からは新しい学校に入るという予定で進めておったところでしたが、その後、延長となったというようなところでございます。

そして、今回のことにつきましては、来週に室根地域小学校統合整備推進委員会が開催される予定となっておりますので、その際に委員の方々にお話しをするという予定にしております。

そして、次の質問の資材の関係でございましたが、大体このアングル材等につきましては、昨年10月とか、そのころは納入となる予定でございましたが、それが入ってこないという情報が入って、メーカーのほうにも再三業者のほうから確認はとっておったところでしたが、メーカーのほうでは、情報規制と言いますか、いつごろ入るといっても話せないというような状況であったところでございました。

それで、A社ではなくてB社に変えるかというような検討もしたところでございましたが、新しい業者に発注した場合、その発注順で納品となりますので、どこの会社でも納入が滞っているということで、会社を変えたことでもっと遅くなるというような可能性があるということで、当初の発注でもって順番を待っていたというような状況であったということでございました。

高圧ケーブルにつきましては、その設置場所を図面でもって工法等を消防のほうに提出して確認をしてもらって、大丈夫だろうと承認をいただいたところでございました。

費用につきましては、現在、それでもって額が幾らになるのかというところはちょっと確認ができていないというところでございます。

委員長：那須委員。

那須委員：状況はわかりました。

2、現在の見通しの中の米印での説明がありました「資材等の搬入が遅れている原因は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、供給者の生産に支障を来しているもの」ということだったほかに高圧ケーブルの生産が停止されたということ自体につきましても新型コロナウイルス感染症の拡大ということで捉えてよろしいですか。

委員長：及川教育総務課長。

教育総務課長：どちらも新型コロナウイルス感染症の関係で、外国の工場がストップしているということから国内に入っていないという状況でございます。

委員長：那須委員。

那須委員：非耐火性の高圧ケーブル、これは室根小学校だけではなくて、ほかの今、花泉小学校などつくっていますが、高圧ケーブルに非耐火性のものを使っているという新校舎はあるかの確認ですが、お願いいたします。

委員長：及川教育総務課長。

教育総務課長：今回の高圧ケーブルにつきましては、室根小学校は耐火性の高圧ケーブルでの設計だったというところでございます。

ほかの学校は非耐火の高圧ケーブルを使用しているというものです。

委員長：那須委員。

那須委員：わかりました。

委員長：門馬委員。

門馬委員：2点ほど伺います。

1月招集会議で5,000万円の補正予算が提案され、それほど時間が経過していないのですけれども、前回の補正時に今回の補正が見込めなかったのかということをもまず1点お聞きしたいと思います。

それから高圧ケーブルの関係ですけれども、今の話ですと、ほとんどが非耐火性の高圧ケーブルということで捉えてよろしいのでしょうか。

先ほどの説明では非耐火性を代替品という表現でされていたものですから、代替品という、将来的には交換するというようなことが生じるのかどうかその2点をお聞きしたいと思います。

委員長：及川教育総務課長。

教育総務課長：前回の補正の時に一緒にできなかったのかというところですが、招集会議の際には、いつまでの工期なのかということがまだわからない状態でしたので工期が見込めない、それに伴う共通仮設費の額というものが算出できないということもございまして、一緒に契約変更というわけにはいかなかったというような状況でございます。

そして2つ目の高圧ケーブルにつきましては、後でまた交換するというものではなくて今回かわりに使用するものは、あとそのままずっと使うということになります。

以上です。

委員長：佐藤委員。

佐藤委員：軟弱地盤だったということで、杭工事がされて、また途中で砂があつて、それで機械がとまってしまったということだったのですが、事前に地盤の調査というのは行われていると思うのですが、軟弱地盤だったということが後からわかった、そしてまた杭打ちをしたときに、打ち込めない地盤だったということが判明したということがどういうことなのかということをお伺いします。

委員長：及川教育総務課長。

教育総務課長：改良の部分でございますが、当初この敷地は切り土部分と一部、盛り土の部分があつたというところでございます。

まず通常切り土であればかたい地面となっておりますので、大丈夫だろうということでおりましたが、一応建設の前に地質調査を行うということで地質調査を行った結果、切り土の地盤ではありましたが、それが風化してその表面から一定の深さのところまでは風化しており、かたい支持層は結構下のほうにあるということが地質調査でわかったというものでございます。

ですので、学校のような建物を支えられるだけの支持層が、結構下のほうにあるということで、通常の杭基礎ではなくて、支持層までの地盤改良が必要だということで、その工事を追加で行ったというところでございます。

そして実際に工事を行ったところ、支持層に至る直前の層はさらに細かい砂地となっておりますので、細かいために機械で孔を掘っていった時に砂が固まって、突き刺さらなくなるというような状況になったということで、どうしたらいいかということでベントナイトという鉱物をそこに入れる。

ベントナイトを入れることによって、ベントナイトは水分を含むと膨張するという効果がありますので、砂状のところにはベントナイトを入れて、膨張をさせてすき間をつくと、そしてすき間をつくってさらに機械を深く進めていくというような工法をとったということで、さらに期間がかかったというような状況でございました。

委員長：猪股委員。

猪股委員：この工事のおくれによって学校運営、学業、それから放課後児童クラブに対する影響というのは、どのようなものが発生するものかどうか、若干あるだろうと思うのですが、その辺はあまり影響がないものなのかどうか確認いたします。

委員長：及川教育総務課長。

教育総務課長：完成までの間は、現在の室根東小学校を使うということにしておりますが、現在の室根東小学校につきまして、教室数もまず確保できるということと、2つの学校が一緒になった生徒数、児童数を入れるとなると若干狭いという感はございますが、通常の授業を行うのに支障が出るまではいかないだろうということで、室根東小学校1校でもって仮教室としての使用は可能であり、そこまでスクールバス等での通学の確保も一応できているということでございます。

あとは放課後児童クラブができるまでの仮の場所についても、確保しているということで、まず支障がない、できるだけ支障がない範囲で学校運営は可能であるというように判断しているところでございます。

放課後児童クラブにつきましては、6月ごろまでは確保できているところでございますが、2学期までとなった際の延長分については今調整中というところでございます。

委員長：千葉信吉委員。

千葉（信）委員：お疲れさまです。

今の質問と関連しますけれども、4月25日が工事完了予定という話を聞きまして、室根東小学校を仮教室として授業をやっていくという話なのですが、中途半端な時期に移動になるのだと思うのですが、できるまで既存の室根西小学校、室根東小学校でそのまま授業を続けて、しっかりでき上がってから移動することが一番いいと思うのですが、あえて一緒にしてその間は仮教室でやるということ、その辺がちょっと理解がたいのです。

あと、工期が何回も変わる、新型コロナウイルス感染症の関係もあるということはおわかりますが、6月30日以降、2学期から新しい学校で授業を受けられるという話、これ以上の工期の延期はないということでお約束できるのでしょうか。

その辺がちょっと心配されるところでございます。

委員長：小菅教育長。

教育長：室根東小学校、室根西小学校、それぞれの学校に通っていて校舎ができた段階で移るというのが一番いいのですが、令和4年4月に統合になってしまうので1校分の教職員数しかいなくなってしまうということですから、教える先生がいないという、これでは

学校が成り立たないのでとりあえず入ることができる室根東小学校のほうに入って、そして移動するという形をとりたいと思っていました。

ちなみにこの工期のおくれによって多分引っ越しが夏休み中になりますので、引っ越しの部分の日程確保は逆にしやすくなる部分ではあるのですが、いずれ入るのが遅くなりますので、学校行事については、例えば運動会については6月に引っ越し予定だったので5月にやってしまうという予定で進めておりましたので、行事に対する影響もないのではないかというようには思います。

それから、これ以上工期がおくれることはないのかということですが、現時点ではその線で大丈夫だということで話はされていますが、何分新型コロナウイルス感染症の影響で資材の調達という部分になりますと私たちの力が及ぶ範囲ではなくなりますので、万が一そういう事態になったときには、またここで再度説明させていただくこともゼロではないということでもあります。

委員長：千葉信吉委員。

千葉（信）委員：鋭意、努力をお願いします。

いろいろ作業環境の変化だと思いますが、心配しているのは、花泉小学校の関係もあるので、そうすると今回室根小学校が特に多いです。

なんか、私が感じているところは本当に何回も統合はしているのですけれども、かなり地形的な問題とか、新型コロナウイルス感染症の問題があったからそうだと思うのですが、そういうことを考慮しますけれども、その辺はやはりもう少し、子供たちのこと、地域のことを考えていけば、やはりその辺をもう少し慎重に行っていただければいいのかなと思いますし、先ほど高压ケーブルの関係で、耐火性を非耐火性にしてこれから契約変更を行うということで、これが軽易なのかどうかわからないのですが、やはりもう少し先、先の中で考えていく必要があったのだろうということも考え、別に品質にそんなに影響がないのなら、非耐火でもいいのだろうと今思うのですけれども、その辺は教育委員会としては、その製品に関しては、独自に研究していてもいいのだろうと思います。

あとは教職員の関係もあるということですが、それは大体承知はしているのですけれども、子供たちにとっては、やはり一旦、仮校舎に行ってまた移るというのは、環境的にあまりそぐわないといいますか、子供たちはなれるというか、その辺は承知しているのですけれども、やはり新しい校舎ができたときにスタートしていくというのが一番理想ではないかと思います。

室根西小学校、室根東小学校でまず授業を行ってからという質問でしたので、その辺も何かありましたら、お伺いします。

教育長：小菅教育長。

教育長：そのまま室根東小学校と室根西小学校にいてということなのですが、教職員の部分でどうしても4月1日に、簡単に言えば、それぞれの学校に1クラスずつあったものが1

クラスへ移行、両校あわせて1学年1クラスになります。

ただし、現在、室根東小学校には複式学級があるのです。

それが一緒になっても各学年1クラスでありますので基本的には教員の数はほぼ変わらないのです。

ですから担任がいないという状況になりますので、校長、副校長が常時授業をするということは臨時的にはやることがありますけれども、なかなかできないので、この統合については基本的にはこちらで決めて、統合年度を決めて、岩手県教育委員会に既にそういう話をしていて教職員の人事配置については、岩手県の裁量事項ですので、岩手県の基準に基づいてやっていますので、それをその時だけふやすということはなかなかいかない状況がありまして、こうせざるを得ないということでもあります。

御理解していただければと思います。

委員長：岩淵委員。

岩淵委員：新型コロナウイルス感染症の影響で管理が大変であり、御苦労さまでございます。

まず一つは先ほど部材納入のおくれ、遅延が発生しているということでもありますけれども、現時点の部材の単価アップ、値上がり、その辺のところはどうなのかということ、もし情報等々があるのであればお尋ねをしたいと思います。

先ほど工期が延びることによって、共通仮設費などがアップするということはわかりましたけれども、世界的にさまざまなものが値上がりしておりますので、ここも確認をしたいと思います。

それから、施工業者への過度な負担といいますか、強いることがないような手だてになっていると思うのですが、その辺はしっかり業者に言われているのかどうかというところを確認したいと思います。

子供たちから見ると、変化、変化でそれぞれの2つの学校が今ある1つの学校に集まって勉強をして、そのあとに楽しみにしている新しい学校に移るということで、教育環境が変化して、その辺のところできさまざまな気持ちのところの変化があるかと思いますが、子供へのフォローアップ体制というのはどのようになっているのかお聞きをしたいと思います。

委員長：及川教育総務課長。

教育総務課長：まず、部材の価格の上昇につきましては、発注自体が結構前の発注でございましたので、部材の高騰によって工事費がどうのこうのという影響は今のところはないというように聞いておりますし、考えております。

あとは工事の安全面でございますが、毎月、各業者が集まっての定例会を実施しておりますので、その中で安全確認とあとは工程の順番であるとか、そういったものを確認しながら行っておりますので、その辺は十分留意しながら工事を進めているというところでございます。

委員長 : 小菅教育長。

教育長 : 子供たちの変化へのフォローということでしたが、まず一つは統合する場合、一番問題なのは通学方法についてであります。いずれ統合した場合にも、今の室根東小学校からは全部スクールバスを利用するという形になります。

仮校舎の室根東小学校に入った場合、室根西小学校のほうからはスクールバスが同じように行くことになりまして、バイパスができたためにその通学時間というのは、かなり短縮されることになりましたので、通学上の部分については改善を図られているのかなというように思います。

それから、新しい校舎に移る場合、統合後の学校の教員は変わりませんので、同じメンバーと一緒に移りますので、その辺のフォローは十分ケアができるのかなというように判断しております。

委員長 : 那須委員。

那須委員 : 先ほど課長のほうからいわゆる地域への説明は来週、室根地域小学校統合整備推進委員会を開いてそこで説明するという話がありました。

室根地域小学校統合整備推進委員会でも新校舎の使用開始はいつからだという話は確実に出ると思います。

確実に2学期の始業から新校舎の使用が開始できるということをしっかりお話ししていただくためには、先ほど教育長が話しましたが、資材関係、新型コロナウイルス感染症の関係で不安、懸念されるということだったので、もし業者のほうに今の段階で、高圧ケーブル、アングル材の納入の停滞ということがあった中で、新校舎の使用の開始がおくれたというところは理解できるかと思いますが、資材のおくれが今後、他の資材であるかないかということをしっかり確認していただいて、それがクリアできれば校舎の工事につきましては淡々と進むと思いますので、その辺をしっかり確認した上で、来週の室根地域小学校統合整備推進委員会ですけれども、子供たちの夏休み明け以降は新しい学校で授業ができる、地域の方にもそういったところをしっかりと説明できるようにしていただきたいと思います。

委員長 : 小菅教育長。

教育長 : 先ほど教育総務課長から説明がありましたように、現在ネックになっているのは外壁の下地材、アングル材と高圧ケーブルです。

高圧ケーブルの部分については、非耐火性に移行することでこれはクリアできたということですので、残りはアングル材の供給の見通しがこれ以上おくれなことで、今の段階でこの部分の見通しが立ったので2学期からスタートということで説明させていただきます。

ただ、これがさらにおくれた場合には、可能性とすれば極めて近いのですが、あった場合にはすぐに説明させていただくということになると思います。

100%確実だということを言いながら、またおくれたのではかえって信頼性を失いますので、そこはそういう言い方をしたいと思います。

なお、このことについては、私も教育部長も一緒に行って現地で施工業者3社から、その理由について明確に説明してくれということを伝え、直接受けた説明でありますので、その部分についてはしっかり業者に伝えていきたいと思います。

委員長 : ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : なければ、質疑、意見交換を終わります。

以上で、一関市立室根小学校校舎・屋内運動場等建設工事の進捗状況についての調査を終わります。

当局の皆さんにはお忙しいところ、御出席いただき、ありがとうございました。
暫時休憩します。

(休憩 11:54～11:54)

委員長 : 再開します。

以上で、予定した案件の協議は終了いたしますが、委員の皆さんから何かございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

委員長 : なければ、以上で本日の委員会を終了いたします。

御苦労さまでした。

(午前 11 時 54 分 終了)